

セッション：行動経済学

## 時間割引率：逡減的時間割引率と期間効果

### Time Discounting: Declining Impatience and Interval Effect

木成勇介（大阪大学経済学研究科）

大竹文雄（大阪大学社会経済研究所）

筒井義郎（大阪大学社会経済研究所）

2006年5月

#### 要約

直近になるほど時間割引率が高いという「逡減的時間割引率」を報告しているこれまでの研究のほとんどは、時間割引を測る 2 時点間の「期間の長さ」とこの時点が評価時点である現在からどのくらい先かという「時点の遠さ」を区別していない。本論文では、「時点の遠さ」と「期間の長さ」を明示的にコントロールした実験を行い、①時点が遠いほど時間割引率が低い、②期間が長いほど時間割引率が低い、ことを明らかにした。②は弱加法性の十分条件である。さらに、②は被験者の意思決定が選択肢間の金額差から影響を受けることから生じていることを発見した。